

愛媛県立松山南高等学校砥部分校 教育寮（仮称）建設プロジェクト

親元を離れて暮らす生徒とその親のために、クリエイターとしての学習に全力投球可能な安心安全な生活環境を提供するとともに、地域外から多くの生徒が町内に滞在することで地域住民との交流が生まれ、高齢化が進む地域に賑わいが創出される拠点施設（砥部分校教育寮）を整備する。

【背景】

令和4年7月、愛媛県教育委員会は、全日制の県立学校55校を5年後までに44校に統合する「県立学校振興計画案」を公表し、本町唯一の高等学校「松山南高等学校砥部分校」は、伊予高等学校へ統合する案が示された。

同校のOBや保護者、地域の反響は大きく、署名活動の広がりや町議会への請願など同校存続に向けた活動が活発化した。

【町の決断】

同校の存続を願う在校生、OB、保護者の強い思い、そして本町の観光基盤「砥部焼」業界と同校の関わりの深さから、本町が同校の魅力化を推進し存続を支援することで、学校のみならず地域の魅力を高め、地方創生につなげる。

【砥部分校魅力化推進施策】

同校の存続に向けた3点の魅力化推進施策を愛媛県教育委員会に提案

- ① 砥部分校空き教室を利用したIT企業のサテライトオフィス誘致（ゲームクリエーションコースの新設）
- ② 全国から生徒を募集する「全国募集プラットフォーム」への登録支援
- ③ 全国から留学する生徒の住環境の整備

【砥部分校存続決定】

令和5年3月、愛媛県教育委員会は、本町が提案した魅力化推進施策を受入れ、砥部分校の統合猶予を決定

クリエイター・デザイナーとしての学習に専念できる生活環境を提供するため、
寄附を通じて協働していただける企業様を求めています！

【関連するSDGsの目標】

【お問い合わせ先】

砥部町役場 地域振興課

電話番号：089-962-7250 メールアドレス：023chiiki@town.tobe.ehime.jp

